

## 名古屋市立名古屋商業高等学校

### 商品開発研究班

#### 葦から“Zoo” Inspire

SDGsの理念に基づき、「葦を用いたごみ問題の解決」を目標に加えた。現在、ポリプロピレン製ストローの代替品として葦のストローを開発し、プラスチックごみの排出を抑制。最終的にはエコロジカル・マーケティングの実現を目指す。



## クラーク記念国際高等学校 名古屋キャンパス①

### DWP Diversity World Project

#### 生物多様性のための企画立案

名古屋市の東谷山で外来種についての実態調査を行う。外来種が在来種の生態系へ大きなダメージを与えているが、外来種を急激に減らしてしまうと逆に生態系が崩れてしまうこともわかった。正しい理解の啓発活動を行っていきたい。



## クラーク記念国際高等学校 名古屋キャンパス②

### リス研6班

#### 猫の交通事故を防ぐ

東谷山で猫の交通事故に関する情報を集めていくと人間の交通事故防止のための取り組みは盛んに行われているが、猫等の動物に対する防止策が圧倒的に不足していることが分かった。今後は上記の対策実現に向けて、地域と連携をとっていく。



## 愛知県立木曾川高等学校

### 総合実務部

#### 絶滅の危機に瀕した木曾川のイタセンパラ! 私たちにできる活動は何か?

絶滅危惧種ⅠA類指定「木曾川の淡水魚 イタセンパラ」の木曾川中流域のワンドや溜め池での生息環境を取り戻したい。水、植物、魚類、動物等に対し広い視野を持ち、イタセンパラの保護につながる活動を続け、「地域の宝」にしたい。



## 愛知県立佐屋高等学校①

### 文鳥プロジェクトチーム

#### 絶滅を防ぎ命をつなぐプロジェクト! 白文鳥よ再び!

白文鳥は、愛知県弥富市で誕生した。350年の歴史を誇る弥富文鳥文化も、現在、生産農家は残り2軒。消えていくこの現状をなんとかしたいと、私たちは現在約40羽の文鳥を飼育している。今後、ペアの見直しと繁殖環境の改善を行う。



## 愛知県立佐屋高等学校②

### カメプロジェクト

#### 「タートルチップの可能性」～生物多様性・農耕地の保全と外来種の活用～

生態系を守り、地域の農業被害を食い止めるため、アカミミガメの駆除活動を行っている。また、アカミミガメの恵まれなかった命を農業に活用することも目的とし、カメの甲羅の肥料化の研究を行い、作物の生育を良くすることが分かった。



## 三重県立四日市西高等学校

### Yon-nishi SHIZENKEN

#### 鈴鹿山麓におけるフクロウの保護活動

三重県・準絶滅危惧種指定のフクロウの保護、研究、教育（啓発活動）を進める。四日市から始めた巣箱掛けの保護活動を、鈴鹿山脈を中心に59箱の巣箱を設置。フクロウをシンボルとした生物多様性のある森づくりをさらに推進していく。



## 三重県立四日市農芸高等学校

### 自然環境コース

#### より良い自然観察園を目指して ～自然を身近に感じる公園づくり～

校内の自然観察園は、完成から15年を過ぎ、外来種を含めた雑草が繁茂している。また、昨今の異常気象により植栽した山野草などが枯れてしまった。そこで無機的環境の再検討を行い、石と水に注目。ピオトープを造ることを目指した。



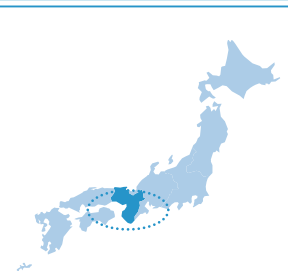
## 学校法人鈴鹿享栄学園 鈴鹿高等学校

### 鈴鹿中学・高等学校SOM

#### 海岸清掃とロボットを使った環境教育活動

海洋ゴミ問題の解決・改善を目標に活動している。海岸清掃は、月1回を目標に運営はすべてメンバー（学生）が行う。環境教育活動のロボットはすべて自作で、伊勢湾に棲むアカウミガメ、スナメリ、ハセイルカなどをモチーフに造っている。





# 近畿

## 30 団体

## 京都府立宮津高等学校①

### フィールド探究部巨樹係

#### 巨樹は語る

宮津市畑で「大ナラ」と呼ばれる木と出会う。幹周は5メートル。全国10位であることに驚き、地域の財産だと感じ、丹後の巨樹のデータベース化に着手した。この調査を通して、自然が豊かだと言われる丹後を客観視できると考えた。



## 京都府立宮津高等学校②

### フィールド探究部里山係

#### 上世屋で学び伝える

丹後の豊かな自然と、自然に寄り添った人の暮らしや文化を学び、未来へとその価値を繋げていくため、フィールド活動を展開している。伝統技術の体験、放棄棚田の活用、炭焼き、生態系の保全を目的とした環境整備・研究等を行っている。

